

令和8年3月9日

令和7年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

| | |
|-----|-------------|
| 園名 | 台東区立田原幼稚園 |
| 所在地 | 台東区雷門1-5-17 |

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然（身近な自然に興味・関心をもつ）

<テーマの設定理由>

田原幼稚園では、園庭が小さく自然に触れる機会がすくないため、自然物を使って遊んだり、植物に関わる製作を通して、身近な自然に興味・関心をもてるようにしたい。

2. 活動スケジュール

4月頃～：園庭の虫や、草花に触れて遊ぶ
10月：夜の園庭を散策するナイトツアーを行う
11月：自然物を使って遊ぼう

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・葉っぱのカード（半分に切ってカード合わせに使う）
- ・葉っぱのカード（1枚の葉っぱがついているもの）
- ・折り紙
- ・クリップ
- ・ホチキス
- ・はさみ

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

- ・床に裏返してあるカードをめくり、じゃんけんをする。（大きい葉っぱの勝ち）
- ・半分に分かれている葉っぱのカードを、神経衰弱のように見つけて1枚に合わせる、一人1枚カードを手に取り、残りの半分のカードの友達を探すというゲームをおこなう。
- ・モミジが風邪で飛ぶ種だという話を聞く。本物のモミジの種を着せてもらい、折り紙で飛ぶ種を作ってみる。
- ・実際に飛ばして遊んでみる。

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

- ・床に広げてあるカードを拾い、近くの友達と葉っぱじゃんけんをしている。「負けた！」「勝った！」と、盛り上がっている。また、「いろいろな形の葉っぱがあるね」「ハートの形だ」などと、言い合っている。
- ・半分に切ったカードの葉っぱを見て、残りの半分を持っている友達を探し始めた。「子の葉っぱ持っている人いる？」と、大きな声で探し回っている。見つかると大きな声で「いた！」「こんな葉っぱだったんだ」とくっつけてみている。
- ・飛ぶ種作りでは、実際のもみじの種を見て「きれいに飛ぶんだね！」「くるくる回って落ちてくる！」など、種の動きをよく見ていた。折り紙で作った種をいくつも作り、一つずつ飛ばしたり、いっぺんにたくさん飛ばしたりする姿が見られた。

<活動の様子>



カードを合わせて、みんなで確認

半分のカードを持っている友達を見つける

飛ぶ種を作って、飛ばしてみた

5. 振り返り

・身近な自然環境が少なく、どのように指導したらよいのかと思っていたが、自然全般でとらえ、登園・降園時・休みの日など園内以外でも、身近な自然に触れることができる。このようなことも活用していくとよいと感じた。また、子供たちがよく知っている神経衰弱を、葉っぱのカードで行ったところ、ただ「カードをつなげて出来上がり」というだけでなく、葉っぱの様子をよく見て、形を言いながら相手を探している姿が見られた。

・飛ぶ種作りでは、本物のもみじの種がぐるぐる回って落ちてくる様子を見て、びっくりしていた。教師も実際に種が落ちるところを見てきれいに回りながら落ちる姿に驚いた。折り紙で、同じように作れることを知ることができた。

以上